

2019 年 7 月 19 日

専門委員会開催報告

専門委員会名	第 11 回「核燃料サイクルの成立性」研究専門委員会
開催日時	2019 年 6 月 19 日(水) 13:30～16:40
開催場所	三菱重工業(株) 丸の内本社ビル 25 階 2510 会議室
参加人数	16 名 佐藤主査、井上幹事、太田幹事、斉藤幹事、佐野幹事、藤田幹事、佐藤幹事、可児委員、川島委員、澤田委員、津幡委員、西原委員、村上(朋)委員、村上(毅)委員、森田委員
議 事	1. 第 10 回「核燃料サイクルの成立性」研究専門委員会議事録(案)及び開催報告(案)の確認 前回議事録(案)及び開催報告(案)の確認が行なわれた。 2. これまでの諸量評価に MA の消滅処理と段階的な高速炉の導入を反映した「上振れ/現状/下振れシナリオに対するマテリアルバランス評価 3」について西原委員から紹介された。 3. Gr.D 論点整理として各委員への確認結果について佐藤幹事から紹介された。 4. 秋の大会 企画セッション 発表内容の確認・調整 企画セッションの提案状況について、佐藤主査から紹介された (1) 本委員会の設立趣旨と目的について、佐藤主査から紹介された。 (2) 原子力需要シナリオと諸量評価について、西原委員から紹介された。 (3) 原子力需要シナリオ(上振れ・現状)とその評価方針の報告内容について、太田幹事から紹介された。 (4) 原子力需要シナリオ(下振れ)とその評価方針の報告内容について、斉藤幹事から報告された。 (5) 原子力需要シナリオとその研究・開発項目の報告内容について、佐藤幹事から報告された。 (6) 今後の予定・質疑の内容について、佐藤主査から報告された。 5. その他 (1) 「放射性廃棄物の処理・処分と分離・変換技術」研究専門委員会での情報活用について、西原委員から紹介され、確認を行った。 (2) 次回は 2019 年 8 月 22 日(木)、東京大学で開催することとした。 以上
備 考	

専門委員会開催報告

専門委員会名	第 10 回「核燃料サイクルの成立性」研究専門委員会
開催日時	2019 年 4 月 23 日(火) 13:30～17:00
開催場所	日本原子力研究開発機構 東京事務所 20 階第 1 会議室
参加人数	17 名 佐藤主査、井上幹事、太田幹事、斉藤幹事、佐藤幹事、藤田幹事、松村幹事、佐野幹事、飯塚委員、駒委員、川島委員、三倉委員、津幡委員、中原委員、西原委員、村上委員、森田委員
議 事	1. 第 9 回「核燃料サイクルの成立性」研究専門委員会議事録(案)の確認 前回議事録(案)の確認が行なわれた。 2. 2019 年度「核燃料サイクルの成立性」研究専門委員会名簿について佐藤主査から紹介された。 3. 2018 年度活動報告書(案)について佐藤主査から紹介された。 4. 「上振れシナリオ検討」の活動状況について太田幹事から説明がなされ、グループでの検討内容が紹介された(天然 U 需要、使用済燃料最大貯蔵量、Pu リサイクル在庫に関する検討)。 5. 「現状維持シナリオ検討」の活動状況について駒委員から説明がなされ、グループでの検討内容が紹介された(原子炉、使用済燃料の取り扱い、Pu の管理、及び福島第一原子力発電所事故の影響に関する観点から検討すべき事項の整理)。 6. 「下振れシナリオ検討」の活動状況について、斉藤幹事から説明がなされ、グループでの検討内容が紹介された(MOX 燃料の直接処分に係る情報)。 7. 「研究開発に係る検討」の活動状況について、佐藤幹事から説明がなされ、グループでの検討内容が紹介された(研究開発に対する論点の整理状況、今後の活動案)。 8. 「人材育成に係る検討」について、佐藤主査から説明がなされ、グループでの検討内容が紹介された(産業を維持するための技術者の育成及び体制構築等、今後行うべき項目の整理)。 9. 2019 年度の活動スケジュール(案)について佐藤主査から説明がなされ、今後の委員会の予定(案)が示された。

	10.「原子力学会 2019 年秋の大会での報告内容」について佐藤主査から説明がなされ、シリーズ報告(案)が示された。 11.その他 ・次回は 2019 年 6 月 19 日(水)、MHI・丸の内本社ビルで開催することとした。 以上
備 考	